

飛鳥資料館 秋期特別展 「木簡黎明－飛鳥に集う いにしへの文字－」

飛鳥資料館では2010年10月16日（土）～11月28日（日）までの1ヶ月間秋期特別展「木簡黎明－飛鳥に集ういにしへの文字－」をおこないます。この特別展は、平城宮跡資料館でおこなわれる木簡展「天平びとの声をきく」と呼応して開催されるものです。

平城宮跡資料館の「天平びとの声をきく」展では、平城京を中心とした8世紀の木簡が展示されますが、本特別展では、全国各地から発掘された7世紀の木簡を集め公開いたします。そして、今回公開される約170点の実物の木簡には、これまであまり公開されてこなかった奈文研が保管する飛鳥・藤原地域より出土した木簡をはじめ、全国各地の有名な7世紀木簡が一堂に会する稀有な機会といえるでしょう。

今回の特別展では多くの貴重な木簡を展示しますが、各木簡の展示は遺物保護の観点から、約2週間に限っておこないます。そのため展示期間は3つに分かれており、Ⅰ期（10月16日～11月1日）、Ⅱ期（11月2日～11月15日）、Ⅲ期（11月16日～28日）を予定しております。各期で展示される木簡は全く異なるものですので、それぞれの期間で違う表情の展示室をご覧くださいと思います。

また、木簡に馴染みが薄い方でもお楽しみいた

だけるように、初級者向けのパネル解説やカタログなども準備しております。そして、木簡のほかにも、奈良県石上神宮七支刀や埼玉県稲荷山古墳鉄剣の各々のレプリカなど、最初期の文字史料も展示しております。木簡のみならず広義の文字史料を捉える展覧会となっておりますので、出土史料に興味がある多くの方々にお楽しみいただける内容となるかと思えます。そして、10月17日（日）には寺崎保広 奈良大学教授による記念講演会、10月23日（土）、11月6日（土）、20日（土）には学芸員または研究員によるギャラリートークもおこないます。是非、7世紀の黎明の木簡の姿をお楽しみください。

（飛鳥資料館 成田 聖）



飛鳥・藤原地域より出土した紀年木簡（レプリカ）